

第2回 石見養護学校 学校運営協議会 報告

1. 日時 令和4年10月27日（木曜日）10：30～12：00
※ 9：30～ 希望者による高等部（作業学習）、小中学部授業参観

2. 場所 石見養護学校 会議室

3. 次第

<はじめに>

- 1 開 会 10名中7名出席により、協議会成立。
- 2 校長挨拶

<議 事>

3 学校運営方針・重点目標中間評価について（別紙1のとおり）

(1)重点目標にかかる学校評価指標

ご意見等

- ・アンケートによる評価方法が多いが、話し合い等により具体的な案が出やすい評価方法も取り入れたらよい。
- ・やや不十分な点については改善策にそって実施してほしい。とくに進路指導部は、生徒、保護者、担任で情報を共有して取り組んでほしい。
- ・寄宿舎の評価が若干低いのが気になる。親元を離れて暮らす生徒の心の安定を図る上で、寄宿舎環境の向上は必須である。今後に期待したい。
→(学校より)中間地点であり「生徒の変容」までは至ってないため、「やや不十分」と評価している。手ごたえは感じているので、継続して取り組んでいきたい。
- ・評価基準について問う。
→(学校より)中間地点であり、あえて基準を厳密に決めてはいない。教職員個々の基準での評価を各所属で話し合い、現時点での状況をまとめている。

(2)センター的機能の評価指標

学校より

現在、特別支援教育コーディネーターを2名配置にし、地域の特別支援教育に係る相談に応じている。児童生徒数の減少傾向は続いており、来年度も学級減で教職員定数も減になる見込み。センター的機能の役割を果たすためにコーディネーター配置への配慮を県教委には引き続き求めたい。

協議会から

学校運営協議会としてもその点については要望をしていく。

(3)地域連携にかかる評価指標

<意見交換>

4 地域連携についての協議

- ・地域連携担当者より、地域連携事業にかかる中間報告と課題を説明。
- ・地域連携コーディネーターでもある白石委員の進行で、グループワーク「『かかわりの階段』を一步上がってもらうためのアイデアを出そう」を実施。
- ・最後のまとめは、添付の写真参照。

<おわりに>

- 5 事務連絡 次回は2月22日か3月2日で、後日調整
- 6 校長あいさつ
- 7 閉会

関係性の階段を上がってもらうには？

検討アイディア

強み / ポイント

弱み / 課題

1.

学校から出る。
公民館と連携

・人数などでの
機動力

・地域側に受け渡す
・共に作る機会、時間の共有

☑ 地域側との

2.

地域行事を通じて
連携する

・人数でやりがいと
張りやすい

☑ 連携 Co. - 公民館 / コーディネーター機能の
3人、充実
・地域に何か子供をまき知に
・養育学校やリハビリ施設等
→ 117 (公民館) → 具体的な人材発掘
中肉が大事

☑ ものづくり等の経験会
時間の共有

3.

キャラクター、受給
情報発信

募集ポスター等への
認知度向上

終、
なよ、
コ、
ティ、
オ、
ート

4.

外に出る

企業等個別に発信
まずは教員だけでも

☑ 学校 - 地域、役割分担、明確化

土日のイベントへの参加も大